

## 花の苗を植えました（人権の花）

22日、5・6年生が「人権の花」の植え付けをしました。これは、子どもたちが協力し合いながら花を育て、その成果を地域に人たちに鑑賞してもらうことにより豊かな心を育てるとともに、「命の大切さ」や「人権の尊重」など、「豊かな人権感覚」を身に付けられるようにすることを願って行われているものです。9月の三省まつりの頃には、しっかりと根付き、葉を大きく広げ、色鮮やかな花を満開に咲かせた花壇やプランターが皆様をお迎えすることと思います。

人権の花植栽式で、人権擁護委員の方から昨年度の人権標語の紹介がありました。「みんながちがってあたり前 一人ひとりが大切な命」「日常に 言葉のナイフが かくれんぼ」「あいさつで 笑顔と元気を 広げよう」は、昨年度の中川小、角館小、白岩小の6年生が作った標語だそうです。この3つの標語からは、「一つ一つの命に価値があること」「普段から気を付けたいこと」「今の自分にできることが」など、お互いに気持ちよく暮らしていく上で大切なことが表現されていると感じました。これから「人権の花」とよい関わりを築きながら、「命の大切さ」についての意識を高めていきたいと思います。



優しくいたわりながら植えています



毎日、交代で水やりをしています

## 縦割り班でも植えました（花壇の植え付け）

雨天のため順延となっていた花壇の花の植え付けを27日に行いました。2校時終了後、玄関に縦割り班ごとに集合し、活動の流れについての説明を聞き、見通しをもって植え付け作業にうつりました。前日の放課後、花の種類ごとに区分けをして花を並べるなどの植え付けの準備をしましたが、5年生の女子のみなさんが快く手伝ってくれたので、この日の作業は、順調に進みました。登下校時、体育の時間、休み時間、ランランタイムなど、学校前の花壇は、とっても身近な存在です。一つ一つの花の成長を楽しみにしながら、子どもたちが「自分の成長」について意識できるようにしていきたいと思います。



前日の準備の様子



スマイルグループで力を合わせて花の苗を植えました



## 口座振替3回目です 準備をお忘れなく！

**7月3日(月)**が学校納金口座振替の第3回引き落とし日です。「ついうっかり残高不足で…」というケースがあるようです。3回目が迫ってきましたので、どうか通帳を確認の上、早めの準備をお願いします。今回、4・5年生は保呂羽山宿泊体験学習の経費3,300円もいっしょに引き落としされることとなります。なお、振替手数料が、お子様1人につき1回につき10円かかります。申し訳ありませんがその分も入金くださるよう合わせてお願いします。

## 5年生の「夢の教室」

21日、5年生は西明寺小学校の5年生15名と一緒に『夢の教室』に参加しました。普段、なかなかいっしょに活動する機会のない西明寺小のみなさんとの教室でしたが、緊張している様子も見られず、自然に打ち解けて活動することができました。

今年の講師は元陸上競技400メートル選手の秋本真吾さん。通称アッキー。現役時代、200メートルにおいて2010年22秒80の当時のアジア最高記録・日本最高記録をマークするなどの活躍。現在は、ランニングコーチとして、日本各地で陸上教室を行ったり、プロ委スポーツ選手のランニングコーチなどを行っているそうです。

秋本さんは、6才の頃、地区の住民運動会のリレー競技での「お父さんの快走」を見て刺激を受け、陸上競技を目指すきっかけになったとのこと。小学校時代はとにかく走るのが楽しくて、走るたびにぶっちぎりで1位になり、記録どんどん伸びていったそうです。しかし、進学した中学校には常設の陸上競技部はなく、バスケットボール部と掛け持ちで、しかも、校内記録会で敗れたために、やりたかった短距離走ではなく、やったこともない棒高跳びをやらなければならなくなったのだそうです。そのため、当初はどちらの競技にもしっかりと向き合うことができず、周囲には「投げやりな態度」とうつつたのか友達がだんだん去っていたとのこと。山あり他にあるの競技生活の中でつかんだのは、「チャレンジすること」「本気でやること」。そうすることが「好きになる、楽しくなる」につながっていくのだそうです。

また、秋本さんは、夢が「100メートル走」「バスケットボール」「棒高跳び」「400メートルハードル」というように向き合う種目に変化していったそうですが、「夢はかわっていくこともある。大事なことは、『本気でチャレンジすること』だ。」ということでした。そして、その夢に近づくために、「どんなことを、どのくらいがんばるのか」という具体的なめあてをもつことが大切だということでした。そのお話を聞き、子どもたちは、一人一人具体的にめあてを考えていました。今後は、子どもたちが書いた夢カードに、秋本さんからの応援メッセージと、みんなで撮った記念写真が貼付されて送られてくるということです。今回の秋本さんのお話を聞き、以前お世話になった先生から教えていただいた言葉を改めてかみしめました。それは次の言葉です。

「子ども時代の夢は、成長に伴って変わっていくかもしれない。しかし、それでもよいのだ。なぜなら、夢を持つ子どもは、決して道を誤らないのだから。」

中川小学校の学校教育目標は、「ふるさとに誇りをもち、未来とのつながりをもとに、たくましく生きる子どもの育成」です。今回の「夢の教室」を通して、改めて「夢を育てること」の大切さを感じたところです。



めあてを発表してくれたY.さん、Y.さん

心を合わせるゲーム

最後はみんなでポーズ！

## 角館中学校 総体壮行会に参加して(6年生の振り返り)

ぼくは、総体壮行会に参加して2つのことにびっくりしました。一つ目は、声の大きさです。エールでは、体をそらせながら大きな声を出して、体育館全体に声が響いてすごいと思いました。二つ目は、人の多さです。1年生から3年生まで合わせると300人以上いてびっくりしました。ほくも、中学校に行ったら、みんなの前で大きな声で話せるように、今から練習していきたいです。(K.さん)

ぼくは、総体壮行会に参加して、部が思っていたよりたくさんあってびっくりしました。ぼくは、テニス部とかはあると分かっていたけれど、水泳部があることをはじめて知りました。また、応援団の人たちが体をそらせて声を出していてすごいなあと思いました。ぼくは、来年、中学校に行くのが楽しみになりました。(S.さん)

ぼくは、角館中学校に入ったら、まずは、あいさつをがんばりたいです。角館中学校に入ったら友達をいっぱい増やしたいです。来年は野球部に入って試合に出たいです。中川小学校の今の1～5年生とあまり会えなくなるのでさびしいです。せんばいの合奏がすごかったです。(S.さん)

ぼくは、角館中学校の総体壮行会に参加して、まだ1年生なのにステージが上がっている先輩たちがいてびっくりしました。ほくも、1年生からステージが上がってみたいです。ステージには、各部のユニフォームを着た人たちがならびました。各部(文化部)のみんなが協力したから準備ができたのだと思いました。(K.さん)

ぼくは、角館中学校の総体壮行会に参加しました。中学校の先輩たちの応援を見ると、ものすごく声が響いていて、とても迫力がありました。「勝利のエール」では、みんなでウェーブをしました。ちょっと難しかったけれど楽しかったです。角館中学校の先輩たちには郡総体でがんばってほしいと思います。特に野球部にがんばってほしいです。ぼくは、角館中学校に入ったら野球部に入るの、野球部にはがんばってほしいです。来年の今ごろにはあそこに立っていると思うので、日常生活からしっかりとしていきたいです。(T.さん)

ぼくは、総体壮行会に参加して2つのことが分かりました。一つ目は、大きな声が出ていることです。体をそらせてエールをおくっていたことです。全員でエールをおくるときには大きな声が出ていました。二つ目は、オーケストラ部の合奏がきれいだったことです。選手の人たちが退場するときの合奏がとてもかっこよかったです。中学校に行ったら、胸をはって壮行会に出られる選手になりたいです。(K.さん)